

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 284

所管部局	福祉部	所管課	子育て支援課	担当者名	谷口 梯
事業名	子ども手当準備事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	子ども手当準備事業			政策体系	112
会計	一般会計	科目	3.民生 - 2.児童 - 1.児童		

1. 事業の概要

国施策の子ども手当創設に伴い、住民情報システム（TRY-X）の改修を行う。
（次年度へ全額繰越対応）

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

②事業を実施する必要性

児童手当同様、住民情報システムを活用し、子ども手当支給事務を円滑に行う必要がある。

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円				0			
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円				0			
財源内訳	使用料・手数料等	千円				0			
	国・府支出金	千円				0			
	地方債	千円				0			
	一般財源	千円				0			
職員等の従事人員		人/年	—	—		0.15			
人件費		千円	—	—		1,218			
事業費総額		千円	—	—		1,218			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

負担金補助及び交付金
負担金
京都府情報化推進協議会負担金（子ども手当用システム経費）
NewTRY - Xシステム改修費分 4,626,873円

5. 事業結果の概要

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
システム改修依頼、契約	3月	

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

国の子育て支援制度であり、子育て世代へ経済的な支援を行う事業として、実施をされている。子ども手当の準備のためにシステム導入等を行ってきた。今後は、新たな手当の支給、また子育て支援の総合的な施策の推進とあわせて、少子化対策につながる子育てしやすい環境づくりの取り組みが重要である。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

--